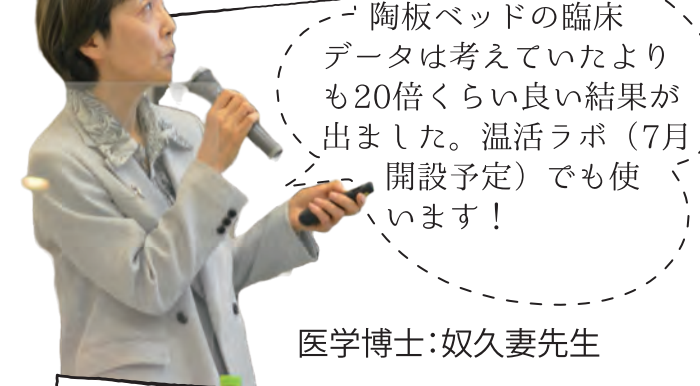


陶板浴と家

竹屋が考える陶板浴がある家づくり研究会では、陶板浴がある家づくりを通じて、みんなが心身ともに健康で、思いやりに満ち溢れた社会にすることを目指して活動しています。

陶板浴関係合同研修会が開催されました



医学博士：奴久妻先生

陶板ベッドの臨床データは考えていたよりも20倍くらい良い結果が出ました。温活ラボ（7月開設予定）でも使えます！



【二日目】陶板浴げんきを運営されている、(有)住空間工房にお邪魔させていただきました。小池社長の熱意ある講義は、講義前から始まり皆さん耳を傾げるのと共に、動画や写真をたくさん撮ってらっしゃいました。（撮影は自由な講義でした）

5月25日（水）26日（木）、竹屋が考える陶板浴がある家づくり研究会の一同は、メーカー：アルコバレーノさん主催の陶板浴関係合同研修会に参加して参りました。今回はバスの乗合ではなく、各々現地集合になりましたので、道中は皆さんとお話する機会はなかったのですが、ホテル到着と共に懐かしい方達とお会い出来て昔話に花が咲きました。

【一日目】ホテルの会議室をお借りして、温活の第一人者・医学博士の奴久妻先生のお話をお伺いしました。何度か奴久妻先生のお話は伺っていましたが、今回の研修会のために、新たにお話していただいた内容もあり、質疑応答含めて約3時間の講義もあっという間に過ぎてしまったことに驚きました。

100%自然素材のe-珪藻土は凄いです！
施工するすべての住宅の寝室に使用していて、健康な生活を送って頂いています。



(有)住空間工房
陶板浴げんき：小池社長



研究会会報誌発行開始！

最近、店舗や公共施設などの入り口で、消毒液が設置してあるのをよく見かけます。私は、監視している人がいる時以外は、積極的に使うことはありません。もしかしたら、私のこうした行動に対して、「こういう人がいるからいつまで経っても、コロナが治らないんだ！」とイライラする人がいるかもしれません。

私にはこれらの消毒液はあたかも江戸幕府の「踏み絵」のように思えます。ワクチンやマスクも然りですね。ヨーロッパのどこかの国の偉い人が、「コロナの一番怖いことは、感染することよりも、人々を分断することだ」というようなことを言っていました。私もまさにその通りだと思います。多くの人は大きな不安や恐怖に直面すると、学者さんやお医者さんの言っていることを盲目的に鵜呑みにしてしまうようです。しかし、テレビ等のメディアで発信する情報は、どうしてもその特性上、一律的に偏りがちです。世の中には元気な80歳の老人もいれば全く覇気を感じない40歳もいます。年齢だけで一律的に、その人の免疫力を決めつけるには無理があります。

大切なことは、メディアからながれてくる情報を盲目的に鵜呑みにするのではなく、自分の頭で考えること、また自分の身体が発する声に耳を傾けることだと思います。もしかしたら、先の事例で、他人に対してイライラする人も、消毒液は手の常在菌を殺し、免疫力を下げってしまうということを知っていれば、もっと他の人の行動に寛大な気持ちを持てるかもしれません。無知が偏見を生み、偏見が社会の分断を産んでいるのです。私たちは、みなさんが心身ともにより健康な身体を手に入れ、ひいては社会全体を思いやりに満ち溢れた温かい社会にすることを目指して情報をお届けしていきたいと考えています。

竹屋が考える陶板浴がある家づくり研究会会長の職員努です！



【事務局】(株)竹屋推進室

〒301-0826 茨城県龍ヶ崎市4356
TEL0297-64-5168・FAX0297-64-5169
(受付時間8:00~17:00)
(定休日・土日祝日)

Green
緑



【ブランドウリフォームより抜粋】

色の持つパワーで

健 **康** **生** **活**

目の緊張をほぐしリラックスさせる効果があると言われています。心を穏やかにする色ですが、鎮静作用が強すぎて心が沈んでしまうこともあるので広い面積に使う場合は家具や建具に明るい暖色を用いるなど、視線の移動によってリズムが生まれるようにするのがポイントです。

心と身体はつながっている

By 竹屋陶板浴磯貝京子

私は、以前体は体、心は心の問題と心と体は別のように考えていました。

しかしそれは知識不足でした。体と心はつながっていて心の問題は身体に症状として現れてくることが分かりました。

何事も前向きにとらえ、心がウキウキしている時と嫌なことばかり考え落ち込んでいる時では、体の働きが違うことが解明されています。これを教えてくれたのは今は亡き世界的な免疫学者、元新潟大学教授の安保徹先生でした。

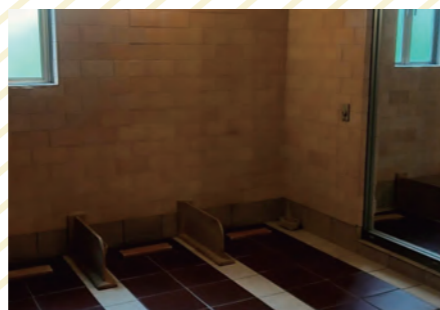
誰にも自律神経があり、自律神経は交感神経と副交感神経に分かれバランスよく働いていれば何も問題はないのですが、心配事や嫌なことが続いているとバランスが崩れ自律神経が乱れてきます。今はコロナや戦争などでの報道を毎日目にする機会があり、テレビを多くみている人ほど心が落ち込み不安定になっています。そのところに、家族の問題や仕事の問題などが重なってくると、鬱的症状があらわれてきます。気力がない、血圧が高くなる、よく眠れない、便秘気味になる、楽しいことは何もないと思ひ込む、このような中で体の不調が出てきます。これらの症状は大きな病気の前触れにもなりかねません。

同じ状況禍でも元気に過ごせる人もいます。共通することは、考え方が前向きな人と、人の流れに流され自分で物事を考える機会がなかった人のような気がします。体は歩いたりストレッチをしたり鍛えたりしていますが、心にも心を鍛える栄養が必要な気がします。それは前向きな人との出会いや、良い本の出会いなど、知識を得る機会が多くなることだと考え、私も努力中です。



竹屋陶板浴

ホッとしよう。キレイに、健康になろう。
抗酸化作用の技術を活用した、身体が芯から温まる低温サウナです。優しい空間でリラックスした時間をお過ごしください。



読んでほしいオススメ図書

——明日からの選択肢が変わる——

● 高血圧は薬で下げるな！
著：浜 六郎

血圧の常識を変える本です。

血圧の基準値が変わるだけで「高血圧症」とされる人数が二倍から三倍になります。脳卒中が防止できる、心筋梗塞の予防になると勧められるが血圧が下がってもやめられないのが実情で、薬の副作用のことは、ほとんど知らされません。

高血圧の原因はストレスや肥満、運動不足、塩分の取り過ぎ、栄養バランスの取れた食事など、高血圧の原因を改善しないで薬で血圧を下げるだけでは身体に無理な負担をかけます。高齢者にとって、全身に栄養を行き渡らせるために、血圧がある程度高めになることが自然なこととされています。



研究会会員さんを知ろう

今回ご紹介するのは、茨城県ひたちなか市にある(株)イバケン様です。代表の飯塚社長は陶板浴に対する思いが人一倍強く、今年の6月には施設型陶板浴「イバケン陶板浴」をオープンする運びとなりました。

『妻が「ひたちなか市にも陶板浴施設が出来るとたくさんの人に喜んでもらえるし元気になってもらえるのよね。」と言われたのを覚えています。それがイバケン陶板浴をつくったきっかけでした。陶板浴は身体を温める事で免疫力を助けるエネルギーを持っています。健康の尊さは何物にも変えることは出来ない！それは創立以来ずっと健康住宅にこだわってきた私の考えです。今までお世話になった方、お世話になっている方への感謝の気持ちとこれから出会うであろう方に、少しでも多くの方に笑顔で話せる場所になって欲しいと想っています。』

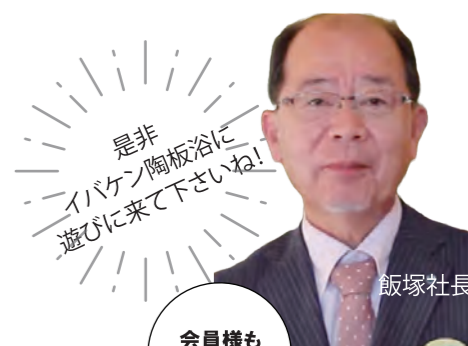
上記【イバケン陶板浴HP館長挨拶より抜粋】

6月12日OPEN



詳しくは [イバケン陶板浴](#)

検索



是非イバケン陶板浴に遊びに来て下さいね！

飯塚社長

会員様も
随時募集中

